

1. 上野方・本江地域の現況・課題

(1) 位置・地域概要

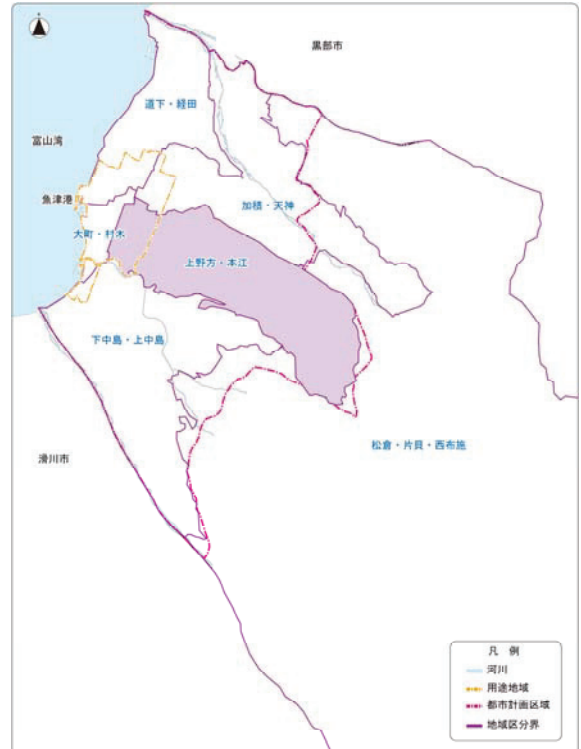
本地域は、魚津市の中央部に位置しています。

古くから農業を主な産業としてきた地域であり、水稻を中心に大麦、大豆、野菜、果樹等を産出し、梨が地区の特産となっています。

北陸自動車道魚津インターチェンジがあり、中心市街地と隣接していることから、土地の需要が高く、開発が盛んに行われています。

また、平成 27 年 3 月に開業した北陸新幹線が地域を横断します。

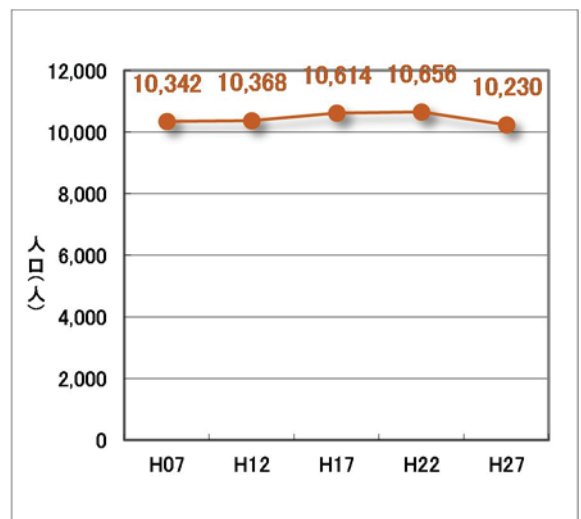
上野方地区の大海寺野・大海寺新・石垣・大字大海寺野村・大字大海寺新村・大字石垣村・大字六郎丸村・大字石垣新村、本江地区の石垣新・印田・三田・本江・本江一丁目・友道・大光寺・本江新町・新金屋一丁目・新金屋二丁目・並木町・大字下村木町・大字上村木町から成り立っています。



(2) 地域人口

本地域の人口は、平成 7 年以降、増減を繰り返しながら、減少しており、平成 27 年における本地域の 65 歳以上人口の割合は 30.4%となっています。

人口の推移は、平成 7 年に 10,342 人であった人口が、平成 17 年に 10,614 人、平成 27 年に 10,230 人となっており、過去 10 年間で 384 人、過去 20 年間で 112 人減少しています。また、世帯数は平成 7 年に 3,058 世帯、平成 27 年に 3,943 世帯と増加傾向を示しています。



※平成 27 年の 65 歳以上人口割合、世帯数は
住民基本台帳（9 月 30 日）の数値

(3) 土地利用

本地域では、平成 17 年から平成 27 年までの間に、10,000 ㎡を超えるものをはじめ、宅地や店舗開発が計 9 箇所行われています。

【開発一覧】

市受付年月	開発区域に含まれる地域の名称	地区名	開発面積 (㎡)	建築物の用途
H17.2	友道字鷹野道	本江地区	8,133	一戸建て住宅
H17.5	本江	本江地区	8,655	一戸建て住宅
H17.6	本江字雲雀作	本江地区	6,793	一戸建て住宅
H19.3	本江	本江地区	4,729	一戸建て住宅
H19.7	本江字窪畑	本江地区	3,680	一戸建て住宅
H20.6	本江	本江地区	5,234	一戸建て住宅
H22.12	三田	本江地区	4,330	一戸建て住宅
H25.2	三田字下三田	本江地区	12,694	一戸建て住宅
H27.9	大光寺字大割	本江地区	4,782	店舗

(4) 都市計画

本地域の一部が、用途地域に指定されています。

都市計画道路 8 路線が地域内を縦横断しており、その内、魚津大光寺線、馬出町友道線に未整備区間があります。

都市公園は、街区公園が 5 箇所、墓園が 1 箇所あり、開設済面積は 2.91ha（街区公園 1.21ha、墓園園地 1.7ha）、平成 27 年度末人口が 9,875 人であることから地域住民 1 人当たりの公園面積は約 2.95 ㎡（市平均 15.03 ㎡：公園面積/都市計画区域内人口）となっています。その他、本市施行の魚津火災復興地区、魚津駅前地区、加積地区、個人施行の本江地区の土地区画整理事業が施行されているとともに、宮津霊園、新川地区広域圏西部火葬場があります。

【都市計画道路】

路線番号	都市計画道路名
3・4・5	片貝早月線
3・4・6	魚津臨港線
3・5・7	魚津駅友道線
3・5・8	魚津大光寺線
3・5・11	馬出町友道線
3・5・12	魚津本江線
3・6・16	魚津駅新金屋線
3・3・17	魚津バイパス線
計	8 路線

【都市公園】

単位：ha

番号	種別	名称	公園面積	開設済面積	計画決定年月日告示番号
1	街区	下村木児童公園	0.17	0.17	S31.1.27 建告第 165 号
2	//	新金屋公園	0.46	0.46	S39.9.7 建告第 2636 号
9	//	村木 2 号公園	0.19	0.19	S42.4.5 市告第 1332 号
	//	東栄町公園	0.08	0.08	
	//	上村木 2 号公園	0.31	0.31	
合計		5 公園	1.21	1.21	

【墓園】

単位：ha

番号	名称	計画決定面積	開設済面積	最終決定年月日告示番号
1	宮津霊園	8.6	6.1	S58.3.1 市告第 7 号

注：開設済面積 6.1ha（墓地 4.4ha、園地 1.7ha）

【土地地区画整理事業施行箇所一覧表】

施行地区名	施行面積	施行年度	施行者
魚津火災復興地区	62.5ha	S31～S36	魚津市
魚津駅前地区	33.6ha	S38～S50	//
加積地区	32.8ha	S45～S55	//
本江	2.2ha	H14～H15	個人

【火葬場】

単位：ha

番号	名称	面積	備考	最終決定年月日告示番号
1	新川地区広域圏 西部火葬場	0.9	火葬炉 5 基 汚物炉 1 基	S58.3.1 市告第 6 号

(5) 住民意向

将来の生活基盤整備に関する住民意向について、当地域と市全域を比較すると、上野方地区、本江地区ともに、市全域の割合を大きく上回るものではありませんが、上野方地区では「上・下水道の整備」、本江地区では「公園・緑地の整備」の関心が比較的高くなっています。

		魚津市をもっと住み良くするために、どのような生活基盤の整備を要望しますか													
		合計	幹線道路網の整備拡充	生活道路網の整備	公共交通対策	交通安全対策	上・下水道の整備	公園・緑地の整備	駐車場、駐輪場の整備	住宅と工場、倉庫、店舗などの混在の解消	市街地のなかの農地と宅地の混在解消	新しい住宅地の整備	市街地の再開発の促進	その他	無回答
市 全 域	件	1,522	165	537	524	303	70	203	88	78	63	103	448	64	50
	%	—	10.8	35.3	34.4	19.9	4.6	13.3	5.8	5.1	4.1	6.8	29.4	4.2	3.3
地区別	上野方	件	75	10	28	27	15	6	9	3	2	2	4	22	4
		%	—	13.3	37.3	36.0	20.0	8.0	12.0	4.0	2.7	2.7	5.3	29.3	5.3
	本江	件	273	21	91	94	54	10	45	17	10	11	15	87	13
		%	—	7.7	33.3	34.4	19.8	3.7	16.5	6.2	3.7	4.0	5.5	31.9	4.8

また、当地域では「市長のタウンミーティング」、「第4次魚津市総合計画策定時の地区別ワークショップ」、「意見交換会」、「地域福祉座談会」において、都市計画に関する事項として以下の意見・要望、課題・取組に必要な支援が整理されています。

地区名	市長のタウンミーティングによる意見・要望
上野方地区	総合体育館は未耐震構造のため取り壊されとのことだが、スポーツする場所が失われる
	自然を体験するという観点で、桃山に散策路を作って欲しい
本江地区	富山労災病院の改築及び市関連施設の整備はどのようになるのか

地区名	第4次総合計画ワークショップによる課題・取組に必要な支援
上野方地区	課題 ・災害に強い地域づくりが必要です ・小学校など参加しやすい環境をつくり、地域住民の交流を促すことが必要です
本江地区	課題 ・高齢者も公民館が利用できるよう工夫し、休日にも利用できることの周知が必要です ・本江地区に新しく入って来た人との交流を増やすことが必要です 取組に必要な支援（すでに事業化しているもの・支援可能なもの） ・街灯を設置する 取組に必要な支援（支援実施に向けて検討を始めるもの） ・道路（通学路）・歩道の整備 ・公民館をバリアフリーにする（高齢者にやさしく、耐震化を図るため、改築を）

地区名	意見交換会・地域福祉座談会などによる意見・要望
上野方地区	商業施設がない 地区や地域の交流の場がほしい 小学校跡地を上手に活用する方法を考える 街灯が少なく、夜道が真っ暗である 空家が増えている
本江地区	道路整備だけではなく、土地区画整理事業と合わせたまちづくりを目指して欲しい 本江小学校は、平成30年4月から「よつば小学校」として開校するため、その点を踏まえた表現とすべきである 空家が増えている コミュニティバスが週1回しか停まらない 川の水があふれる 道路幅が狭い

(6) 地域の課題

本地域の現況を踏まえて、課題を以下に整理します。

	現 状	課 題
位置・地勢・人口	・ 農業が主な産業です。 ・ 中心市街地と隣接しているため土地の需要が高く、開発が盛んです。 ・ 北陸自動車道魚津インターチェンジがあります。 ・ 北陸新幹線が地域を横断します。 ・ 人口は、平成7年以降、増減を繰り返しながら減少しています(20年間で約110人の減少)。 ・ 世帯数は、増加しています。	○住宅用地と優良な農用地の調和 ○用途地域内外における土地利用区分の明示と用途地域外におけるゆとりある居住空間の形成 ○北陸自動車道魚津インターチェンジへのアクセス性の向上 ○北陸新幹線沿線の環境や景観に配慮 ○計画的な住宅・土地の供給と良好なコミュニティの醸成 ○空家・空地の利活用
土地利用・都市計画	・ 平成17年から平成27年までの間に、宅地や店舗の開発が9箇所行われています。 ・ 本地域の一部が用途地域に指定されています。 ・ 都市計画道路8路線が地域内を縦横断し、その内、魚津大光寺線、馬出町友道線に未整備区間があります。 ・ 都市公園は、街区公園が5箇所、墓園が1箇所あり、開設済面積が2.91haと1人当たりの公園面積は約2.95㎡です。 ・ 魚津火災復興地区、魚津駅前地区、加積地区、本江地区の土地区画整理事業が施行されている他、宮津霊園、新川地区広域圏西部火葬場があります。	○適正な開発の誘導による計画的な土地利用 ○土地利用状況を踏まえた用途地域や、防火地域・準防火地域の見直し検討と用途地域に基づいた土地利用 ○低未利用地の有効利用や都市基盤整備の充実 ○都市構造の変化を踏まえた都市計画道路の見直し検討と計画的な整備 ○住民の憩いの場や災害時の避難場所となる身近な公園の保全 ○住民との協働による公園の維持管理・緑化 ○土地区画整理事業後における良好で安全な住環境の維持

	課 題
住 民 意 向	住民意向調査 上野方地区 ○上・下水道の整備 ○幹線道路網の整備拡充 ○生活道路網の整備 ○公共交通対策 ○交通安全対策 本江地区 ○公園・緑地の整備 ○市街地の再開発の促進 ○駐車場、駐輪場の整備
	市長のタウンミーティング 上野方地区 ○自然を活用した施設整備 本江地区 ○総合体育館の廃止を踏まえた、既存体育施設の有効活用 ○富山労災病院の改築にあわせた公共施設等の整備
	「第4次魚津市総合計画」策定時の地区別ワークショップ等 上野方地区 ○耐震化等による災害に強い地域づくり 本江地区 ○通学路等地域の交通安全対策 ○雨水排水の改善

※住民意向の課題は、都市計画上の課題を抽出し整理している

2. 上野方・本江地域の将来像

基本理念

地域の立地条件を活かした 人と物の活動拠点の創出

くらす：ゆとりと活気のある街並み、安全・安心な地域を形成します

本地域は、国道8号の開通等による利便性の向上から、沿線の開発が進んでいます。また、行政、教育、公園等の様々な都市機能が立地しています。

今後は、地域に広がる良好な田園環境との調和に配慮しながら、土地利用の規制誘導による計画的な開発、地域コミュニティの醸成、地域特産物の振興等により、ゆとりと活気のある街並みの創出を目指します。

また、本江小学校（よつば小学校）の統合による小学校周辺の機能充実や、耐震化等による災害対策、空家・空地の利活用などによる地域づくりを推進するとともに、これまでのゆとりと活気ある暮らしを守るため、住環境の向上を目指します。

つなぐ：交通体系の要衝地域として利便性の高い道路網を形成します

本地域は、市街地から丘陵地まで東西に広がりを見せ、広域連絡軸となる国道8号、旧スーパー農道が横断しているとともに、地域の東西を結ぶ道路である県道大海寺新本町線、県道石垣魚津インター線や、市外との交流基点である北陸自動車道魚津インターチェンジがあります。

今後は、市内外を行き交う、都市内交通及び広域交通が交差する要衝地域として、利便性の高い道路ネットワークを構築し、人と物の円滑な移動と、これによりもたらされる活発な経済活動の支援を目指します。

まもる：自然や土地の形状からなる良好な景観・環境を保全します

本地域は、市街地から丘陵地に向かって緩やかな傾斜を形成しており、緑豊かな自然環境を有するとともに、丘陵地から市街地方向の田園景観や富山湾の美しい海岸線が一望できます。

今後は、緑豊かな自然環境や傾斜地を活かしながら既存施設と調和した良好な景観・環境づくりを進めるとともに、魚津の特徴的な景観を楽しめる眺望空間の創出を目指します。

